

デジタル田園都市国家構想交付金事業（デジタル実装タイプ） 令和6年度実施事業について

1 デジタル地域通貨「(仮)ガキペイ」活用推進事業

- (1) 事業内容 専用のデジタル地域通貨アプリ「(仮)ガキペイ」を導入する。大垣市商店街振興組合連合会と連携した紙のプレミアム付商品券の電子化により、利用者の利便性向上や域内消費の拡大を図るとともに、同アプリを通じた自治体ポイントの配布基盤を構築し、円滑な行政支援や市民の行動変容の促進を図る。
- (2) 事業費 27,200,000円（うち国費 13,600,000円 ※補助率1/2）
- (3) 事業主体 大垣市、大垣市商店街振興組合連合会

2 混雑情報案内サービス及び事前WEB予約サービスの導入

- (1) 事業内容 外部から窓口の混雑状況をWEB上で確認できる混雑情報案内サービス及び希望する業務の事前予約が可能なWEB予約サービスを導入し、窓口の混雑緩和と市民の利便性向上を図る。
- (2) 事業費 13,300,000円（うち国費 6,650,000円 ※補助率1/2）
- (3) 事業主体 大垣市

3 保護者連絡システムと学校校務支援システムとの連携事業

- (1) 事業内容 「保護者向けの情報発信」、「即時的な欠席確認」、「校務連携」が可能となる「スマート連絡帳」を導入し、教職員と保護者の双方における運用面の利便性及び校務DX化を促進する。
- (2) 事業費 1,914,000円（うち国費 957,000円 ※補助率1/2）
- (3) 事業主体 大垣市

4 事業費合計

- (1) 総事業費 42,414,000円
- (2) 国費 21,207,000円